

春日井写真同好会 第132回例会記録

平成22年3月9日(火) 13:00~14:40
松寿会クラブ室

参加者 6名
青木・小林・福圓・
松倉・村田・吉岡

予定は変わるモノ

今回の例会は、久ぶりにウメを求めて名城へ行こうということになっていましたが、女心と春の空ということで雨模様、急遽クラブ室での集まりとなりました。

突然のことで披露される写真もない模様で、たまたま手持ちの、それも偶然、鳥だけの披露となりました。

珍しい貴重な画像



村田さんから珍しい丹頂鶴の写真披露がありました。

一月に小笠原さんから大草に鶴が来ていると情報を受けていましたが、撮りには行けませんでした。実際に村田さんから見せられると一寸後悔した次第です。

集団で過ごす渡り鳥といわれるのに、たった一羽ということは何かの理由で仲間にはぐれたのだろうと、悲しい気もする絵でした。撮影という目線で見ると見事に撮れたとパチパチモノでした。

右は先月に続くカワセミですが、瞬間を捉えたモノにしてはよく撮れたと賛辞を述べたいと思います。

鶴の場合、10数枚の連写ということでしたが、どんなことか…??

動体を追いながら撮るなら、一眼より、レンズシャッターのコンパクトが処理早さで有利かと思います。



プリントをよくみると、小さなぶれがあるのは仕方がないとしても、画質に粗さが見られるのが一寸残念に思われました。

デジカメの連写の場合、カメラそれぞれで変わるでしょうが、写り込んだ画像を処理してメモリーに送り込む時間に限界があって、短時間に多くの画像を処理しようとする、それだけ画素を小さくしなければなりません。動画の場合、640×480(30万画素)というのがあるように、同じ理屈で静止画の連写といっても動画より毎秒当たりの枚数が少なく名称が異なるだけで、処理できる画素数に限度があります。(パソコンの処理速度と同じ)

静止画で1000万画素を謳っていても、連写となると画素数を落として早く処理するようにし、連写枚数を上げるようにしているものがあるような気がします。

連写は、画像の粗さを気にしないスポーツ場面でよく使われるモノと認識しておき、通常は流し撮りで動きの瞬間を捉えることに慣れるようにしたいと思います。

身近の被写体を見直す



ちがやってきます。距離は4～5mぐらいですが望遠を使って撮っています。ぐるしい庭とは見えず、結構絵として見れるモノになります。



小林から提言ということで2枚の小鳥の絵を見て貰いました。

先月末から今月初めに掛けて家の小さな庭にやってきた小鳥です。

ウグイスも来ましたがこれは小枝の影でピントが枝に合って撮れませんでした。毎年短い期間ですが小鳥たプリントにすると、むさ

左の雀は、一昨年に家で撮ったモノです。先日の新聞にありましたように、雀が激減しているようですが、事実、一昨年は庭に必ず数羽の雀が来ていましたが、昨年からは急に減って、今年は見かけるのが希になりました。

となると、貴重な？鳥ということで、これからは注意して、見つけ次第撮りたいと思います。

青木さんの家の近くの空き地に、アライグマが棲息しているということでしたが、これは夜行性のため駄目でした。身近にいる被写体を見直してみると新しい発見があるかも知れません。

時々、間木さんが、庭の花の写真を披露してくれますが、これからも色々な視点で撮ったモノを見せて戴きたいと思います。

次回、第133回の例会は

雨で流れた撮影会を再度開催することに決まりました。

ところは同じく名古屋城としますが、さくらの開花時期を考慮して今回に限り定例日を変更しますので、忘れず、間違わないようにお願いします。

日時・集合場所：4月6日（第1火曜日） 地下鉄大曽根駅改札口前

名鉄小牧線利用の方は、地下鉄大曽根改札口内側（JR側）で待ってください。

大曽根駅 **10:00 集合**

地下鉄 **市役所 駅下車 7番出口** から名城に入ります。乗車券は「市役所」まで。

櫻は白いので、カメラは白っぽくならないように勝手に判断するので、露出補正を+0.7～1.0にしてみる。WBはオートでなく「太陽」にしてみるとか「日陰」にしてみるとか。シーンモードは「景色」に設定して撮ってみるとか……。オートで撮ると共に、勉強のため色々設定を変えて撮って見ることをお奨めします。何でもないので難しい被写体の一つが櫻といわれますので、取説で確認して設定の要領を確認しておいてください。

遠景では、櫻の白と空の青の面積・明るさの比率が大きく作用することがありますので、これという場所では設定を変えて撮っておくことが大事かなと思います。



連絡は村田へ

0568-81-8283

とき 平成22年4月6日(火)10:00～
ところ 名古屋城